

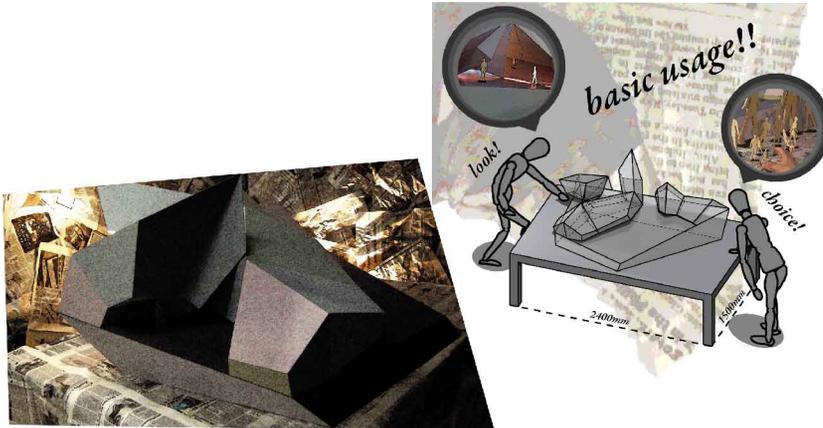
特別  
審査員賞



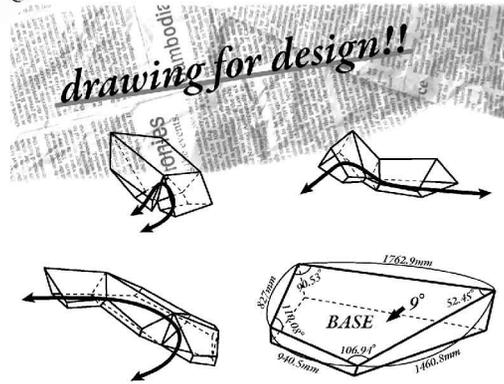
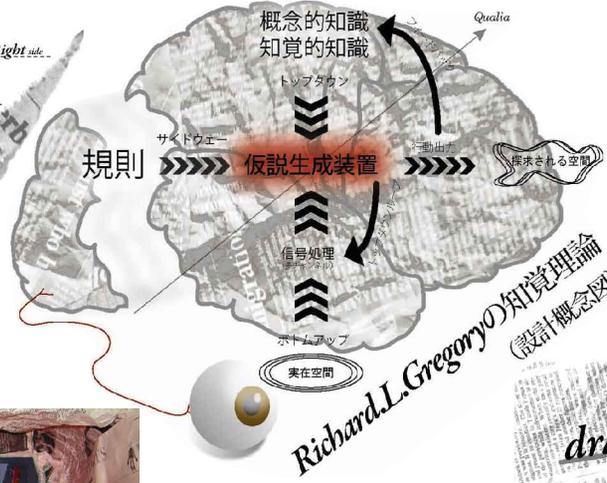
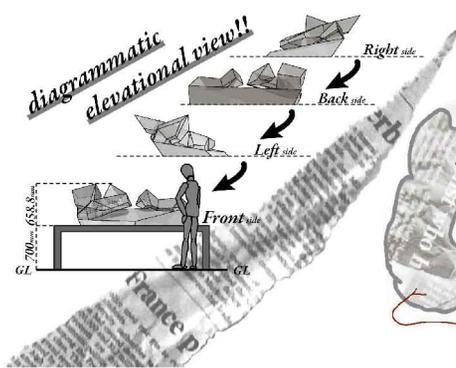
## Lateral Society (ラテラル ソサエティ 伊)

船橋 武雄 (ふなばし たけお)

東京電機大学 情報環境学部 情報環境デザイン学科



私達は多くのアポステリオリ 後天的、経験的 な知識を導入して外界を認識している。知識は私達に多くを見せてくれ、また多くを見せすぎている。この作品は、脳科学、知覚心理学者である Richard L Gregory の知覚理論を基に組み立てられた。知識、経験を意図的に操作することにより、知覚のパラダイムシフトの発生を試みる。直方体ではない非対称的な形状と様々なスケールにより、私達はこのモノを見ることによってしか、見る事ができない。そのようにしてこのモノをよりアプリオリ (アポステリオリ) に見て、様々な視点から吟味して欲しい。それは知識の加筆、修正という点においてのみ説明されるならば、それは人間にとって好ましいものといえるのではないだろうか。



【講評】私たちの空間認識方法が先入観という知識、経験に基づく一面的物であるとするならば、それを操作することによりもっと多面的知覚経験があるのではというテーマを挙げた知覚理論による実験的提案であるようだ。難解な理論と形態操作は、不定形な黒い模型と大小様々な人物モデル、「触ってください」という注意書きもあり観る人全てを疑問と難解の渦に巻き込む。例えば、学生賞という建築の湖に投じた一石が波紋を起し、周囲に展示された建築造形にその波が及ぶように・・・それを楽しむ眼差しの作者がいる。昨年特別賞を受賞した「エミッター」の一連の作品であろう非言語、非視覚を知覚に置き換えた造形操作は、難解であるが何故か不思議な魅力を持ち、この先にある空間風景はどんな物になるかと期待を抱かせる。難解な理論と造形センスの生かし方、そして何より物づくりが好きでたまらないという作者の今後に期待したい。

(審査員：柳田富士男)

